

第4章 まとめ

第1章で過去8年間のPRTR届出データを解析したところ、平成15年度把握から平成21年度把握までは排出量・移動量合計は減少しているものの、平成22年度把握は前年度と比べて、排出量・移動量合計は32,000トン(9.1%)増加しています。しかしながら、第2章で追加物質、除外物質及び医療業を除いて解析したところ、排出量・移動量合計は毎年減少を続けていたため、平成22年度把握で前年度と比べ排出量・移動量合計が増加したのは、政令改正の影響によるものです。

第3章(1)では政令改正の影響を解析したところ、平成22年度把握の届出件数の減少のおよそ半分が政令改正の影響によるものであることがわかり、その大きな要因は、エチレングリコールが対象物質から外れたことにより自動車整備業の届出件数が減少したことと考えられます。更に、届出件数や排出量・移動量合計に、政令改正のうち対象物質の追加と医療業の追加のどちらが大きく影響したかをみると、対象物質の追加の方が医療業の追加より寄与し、届出件数は16倍も大きく、排出量・移動量合計は720倍も大きいことがわかりました。

第3章(2)では東日本大震災による影響を解析したところ、被災県の一部で届出件数の減少が若干見られたものの、平成22年度把握の届出データからは、排出量・移動量合計への影響は明確に見積もることができませんでした。

本報告書では、焦点を絞って解析したため、従来の報告書よりも内容が限定されています。より詳細な解析結果については、今後取りまとめる本編の「平成22年度PRTR届出データの過年度との比較報告書」を参照して頂ければ幸いです。

なお、NITEでは、今後も引き続きPRTR届出データの動向を把握し、化学物質の適切な管理に貢献していきたいと考えています。

平成24年3月

独立行政法人製品評価技術基盤機構 化学物質管理センター

<本資料に関する問い合わせ先>

独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)

化学物質管理センター リスク管理課

Tel:03-3481-1967 Fax:03-3481-1959

E-mail: safe@nite.go.jp

URL: <http://www.prtr.nite.go.jp/>